

あすなろだより 第19号  
 平成18年12月15日発行  
 社会福祉法人 松園福祉会  
 特別養護老人ホームあすなろ園 家族会  
 倉敷市玉島勇崎1,044番地  
 電話 086-528-3110  
 FAX 086-528-3255  
 ホームページ http://www.asunaro.or.jp  
 E-mail info-a@asunaro.or.jp



ほほえみ  
**104歳の微笑**

▲若狭千代恵さん 明治35年1月14日生まれ、満104歳。  
 平成12年4月にあすなろ園入園。  
 3男3女の子を育て、現在孫15人、ひ孫26人  
 計47人が皆んな健在。夫は18年前に他界。  
 農業に従事。  
 若い頃から黒住教の信仰をし、御神水を毎日よく飲んでいたという。  
 食べものは好き嫌いなし。今でも食事は自分で食べられ、毎日洗顔もされる。  
 気丈で明るい性格。感謝の言葉をよく言われる。

深いしわが刻み込まれた笑顔に  
 人生の重みがある  
 ゆったりとしたやすらぎの中に  
 いきいきとした幸せがある  
 まわりの人のおもいやりや  
 いつくしみの心がある  
 そんな施設づくりに私たちは  
 全力を尽くします

いつまでも お元気で。

あすなろ園デイサービスセンター15年

年輪



あすなろ園デイサービスセンターは、平成3年12月1日オープンして、15周年を迎えた。地域の在宅生活を支える拠点施設としての役割を担って、多くの利用者が来園している。開園以来15年続けて利用されている方は、河田二三代さん104歳をはじめ、丸野勝代さん、宮崎あさこさん、中川弥生さんなどがおられる。

センターでは、その人らしい暮らしに合ったケアプランに添って、サービスが提供されており、例えば、月・火・木曜は比較的介護度の低い方。健康づくりや趣味活動。水・金・土曜は、入浴や機能訓練を中心としている。特に人気の高いプログラムは、健康体操、民謡教室、茶道教室、屋外機能訓練などで、毎日いきいきとした笑顔があふれている。利用をご希望の方は、お問い合わせください。

デイサービス希望の星

104歳 河田二三代さん



明治35年1月20日生まれ104歳。夫は20年前に他界。娘2人を育てる。1人住いをしていたが、数年前から長女と同居。週1回のデイサービスが何よりの楽しみ。家に帰ると1日の様子を娘に報告するという。「長生きの秘けつは？」とたずねると、「みんなが親切にしてくれるから、知らんまになっとった。」と明るい。

ボランティア

ありがとうございます  
 平成17年1月1日より  
 平成17年11月30日まで

- 桑名 純朗様 白神 美子様
- 中山 玲子様 白神 峯子様
- 金澤 孝子様 西 公恵様
- 末吉 和子様 赤沢 蓉子様
- 中村伊久代様 西山 寿男様
- 中尾 巧様 白神 和正様
- 徳田ヤス子様 須江 玉美様
- 三宅 裕子様 国富 佳子様
- 西山ヒサ子様 西山 悦江様
- 中藤 綾子様 浅原二三江様
- 渡辺 公枝様 内田 光則様
- 藤澤 孝江様
- 玉島民謡同好会様
- 柏島幼稚園様
- みどり保育園様
- 玉島西中学校区 人権学習推進委員会様
- 黒崎中学校区 人権学習推進委員会様
- 楽団シルバースター様
- おおね劇団様
- 寿会様
- ダスキン倉敷様
- 民謡みやこ会様
- 岡山県大正琴愛好会様
- 水島民謡会様
- カラオケ和様
- 玉島大師信仰会様
- 玉島商業高校野球部様
- 笠岡愛の善意銀行様
- 八幡保育園様

職員表彰おめでとう

- 歌舞の会様
- ダンスてまり会様
- 日本アマチュア歌謡連盟様
- 王子宗昌社中様
- NPO倉敷栄美寿会様
- 銭太鼓 松玉会様
- 萬一座様
- ボランティアすみれ会様
- 布の花の会様
- 三上久潤社中様
- 夏祭りボランティアの会様
- 南浦銭太鼓同好会様
- あすなろ園家族会様



第19回全国スポーツ・レクリエーション大会(兼日韓スポーツ交流エアロビクス大会)が、10月21〜23日鳥取県で開催された。

介護職員富田美保子さん  
 全国エアロビクス大会で優秀賞

この大会に、特養介護職員富田美保子さんが岡山県代表チームで出場。全国(韓国含む)から52チームが出場し、岡山県チームが、みごと優秀賞に輝いた。  
 富田美保子さんは「職場の皆さんの協力のおかげです。」と控え目に話す。

ケアマネージャー 山川政子さん  
 山陽新聞賞受ける  
 平成18年度山陽新聞社会福祉優良従事者に居宅介護支援事業所長山川政子さんが、長年にわたり介護現場で従事し、職員の指導や、資格を次々と取得し他の模範となる。として表彰された。

玉島まつりハーバードダンスで  
 今年もあすなろ園入賞  
 8月5日開催された玉島まつりハーバードダンスに今年もあすなろ園から出場。そのチームワークの良さから、「ダンスング賞」を受賞した。  
 あすなろ園は平成9年から毎年出場。多くの賞を受けている。

あすなろ園広報紙  
 「あすなろだより」  
 編集 編集委員会  
 文責 園長・虫明正雄  
 ケアマネージャー 高知良子さん  
 看護師 真田富美子さん

### その人らしく、暮らしを楽しむ



▲春の丸山公園



▲夏の沙美海岸



▲喫茶を楽しむ



▲秋の乙島フラワーロード



▲スーパーで買い物

**外出でリフレッシュ**

施設の中で、より豊かな生活を送るためには、非日常的な生活場面をもつことも大切である。

入園者にとって外出は、気分転換できる大きな喜びである。



▲回転寿司で好みのすしを食べる

## いきいきライフ

### 地域とのふれあい



▲華麗な舞踊を楽しむ



▲幼児の訪問に笑顔がこぼれる



▲保育園児と運動会



▲幼稚園児と交流会



▲ボランティアの握手に感激

あすなろ園四大祭りの春祭り、夏祭り、敬老祝賀会、文化祭、それに毎月の誕生会交流会には、地域のボランティア団体との訪問が相次ぐ。幼児との交流会では、入園者の笑顔がいつぱい。

### あすなろ園が県認知症研修施設

平成十五年より岡山県認知症介護実践研修・実践リーダー研修を受託し、その実習施設となつていく。

国の示した「2015年の高齢者介護」への課題のひとつに『新しいケアモデルの確立』を掲げ、身体中心ケアから認知症ケアへがある。

認知症の症状には、記憶の障害や認知機能の障害などがある。それらを中核症状として、環境や身体不調あるいは周囲の介護者が原因となり徘徊や妄想などの周辺症状が出てくる。その症状の裏には、認知症の方本人の不安感や焦燥感など切実な思いがある。

研修は、講義形式の研修と施設実習を併せて実施し、認知症の思いや願いに寄り添うこと、そして、そこから認知症の方自身が生活の主体者として「生活の連続性」や「心身の力を活かせること」を認める、生活そのものをケアとして組み立てることを考えていく機会としている。

研修生は、他施設の実務者であり、我々としても緊張感を持って受け入れているが与えられた使命として誠心誠意取り組んでいきたい。

### 学生実習生の受け入れ

当園では、毎年数十名の実習生の受け入れをしている。実習生は大学生、短大生、専門学校生、高校生、さらには中学生と幅が広い。実習内容の中心は「介護」が中心となるが、目指す資格(目的)により若干変化してくる。社会福祉士を目指す人には、在宅の相談援助についても学べる機会を作り、

### 職場体験感想文

チャレンジウィーク14 黒崎中学校二年 岩根佑美

私は、今回の職場体験で、利用者の方にお茶を出すときの出し方や、いっしょにお話をさせて頂くときの話し方など、いろんなことが学べました。そして、「介護士の方や看護師の方が、いつも笑顔で明るくお仕事をされているので、利用者の方も元気に楽しく過ごされているんだ。」と思いました。本当に素晴らしい仕事なんだと思いました。私もこれからは笑顔で明るくがんばっていきたいと思います。

私の進路を考えると、とても貴重な体験となりました。本当にありがとうございました。

## 社会福祉法人松園福祉会 あすなろ園 創立15周年を祝う

### 式典で功労者などに感謝状贈る

#### 11月3日文化祭に合せ盛大に開催

あすなろ園創立15周年記念式典が11月3日、2階ホールで開催された。

式典では、中塚正人理事長があいさつ、「15年間地域の多くの関係者が、あすなろ園を支えてくれたおかげで順調に発展してきた。今後も地域の高齢者福祉の拠点として、この地域がしあわせの里であり続けたい。」と述べた。

次に来賓の橋本岳衆議員、議員、片山虎之助参議院議員夫人などから祝辞を頂いた。また、長年にわたる施設

への功労者、ボランティアに感謝状と記念品が贈られた。家族会会長と入園者代表からあいさつ(別欄に記載)があつて、閉式となり、次に文化祭に移った。

文化祭では、入園者の民謡クラブ、銭太鼓クラブなどの発表。玉島民謡同好会、水島民謡会の特別出演があり、「全国民謡めぐり」が繰り広げられた。廊下では、生活写真、華道クラブ、書道クラブなどの展示が目玉を引いた。デイサービスセンターでは茶席が設けられ、一日華



▲15年の感謝を述べる中塚理事長

- |         |        |
|---------|--------|
| 嘱託医師    | 中塚 繁治様 |
| 眼科医師    | 石 幸雄様  |
| 華道クラブ講師 | 浅原二三江様 |
| 民謡クラブ講師 | 堀 勝山様  |
| 布の花の会講師 | 西 れい子様 |
| 美正会     | 杉野美代子様 |
| 寿会      | 立花 龍二様 |
| 食事介助等ボラ | 桑名 純朗様 |

▲式典で晴れ着姿の入園者



▲式典に先立つ春正会・水島民謡会のひなぶり三番

### 15年の思い出



#### 入園者代表挨拶から 松尾静子さん

本日は、あすなろ園創立15周年おめでとうございます。

また記念文化祭も盛大に開催されることを大変うれしく思います。

私ごとで失礼ですが、私は平成4年2月1日に入園しましたので、もうすぐ満15年になります。

入園した日、新築の玄関を入ると、阿弥陀様が祀られてあるのを見て、まず安心しました。そして部屋は明るくて広いので大変うれしく思いました。

私は62歳の時自転車で用水路に転落、意識不明の重体となり、下半身麻痺になりましたが、九死に一生を得て、病院で命を取りとめていただきました。

病院で2年間、療養生活のあと、あすなろ園へ入園したのです。

あすなろ園では、園長先生をはじめ職員の方々がやさしく、そして親切にしてくれます。

### 松園福祉会が計画

#### 地域の需要に合わせ柏台に新デイサービスを設置

増大する地域の介護ニーズに合わせ、かねてから計画していた柏台地区(タイヤハイツ)に、デイサービスセンターを、

平成十九年春にオープンする。計画では、既存の建物を改装して、1日25人程度の利用を見込む。

今後地域のニーズに合わせて拡大する計画で、準備を進めている。

また食事がおいしく、行事やクラブ活動が充実しており、毎日生きいきとした生活を送っています。

15年間の思い出といえば、春の瀬戸大橋、夏のチボリ公園、秋の遥照山へバスで出かけたことです。

中でも私は、シルバー作品展に習字を出品して、倉敷市立美術館へ見に行き、倉敷美観地区で食事をして、街を散策した思い出があります。

私の郷里の倉敷の美観地区を、再びこの目で見ることはもうできないことと諦めていたので、この景色を見た時、感激して涙がとまりませんでした。

また今はなき、橋本龍太郎元総理大臣が来園され、私と握手をして、写真を撮った思い出もあります。

また毎年の夏まつりには、大勢の地域のボランティアのもてなしがあり、家族会も協力してくれます。

このようなあすなろ園で生活できる者は、しあわせです。心から感謝の気持ちでいっぱいです。

今後共あすなろ園が発展して将来にわたって、しあわせの里でありますよう願ってあいさついたします。